

11月号

学校教育目標

ゆたかな子 たくましい子 かしこい子



東大成小だより

さいたま市立東大成小学校

令和4年 11月1日

ホームページ:<http://higashionari-e.saitama-city.ed.jp>

Te1 663-3210

Fax 663-9883

学校を愛する心 ～ボランティア活動から～

校長 岡田 健彦

秋の青空の下、新しく塗装された正門の空色が輝いています。子どもたちは、登下校時に「すごくきれい」と喜んでいきます。

正門は、学校の顔であり、かねてから、モルタル部分の黒ずみと赤さびの目立つクリーム色の門をきれいにしたいと考えていました。学校と家庭と地域がともに学校運営に携わるコミュニティ・スクール1年目として、PTA役員さんとも相談しながら、「子どもたちが学校に来たくなるような教育環境」「家庭や地域からも愛される学校」について考えました。今回、スマホアンケートで正門、西門、掲示板の希望色を調査したのもそのためです。ペンキの塗布作業は、ボランティアの方々を募り、学校公開日のにじいろコンサートの日に設定しましたので、その作業を全児童と保護者の方々が目にしたことと思います。子どもたちの明るい「ありがとうございます」という声が耳に残っています。

今回の取組は、PTA役員さん、保護者の有志の方々、作業を中心的に進めていただいた職人さんそして、集まってくれたボランティアの子どもたちが、勤労奉仕の精神で団結し、「学校のために」という気持ちが一致したからこそ成し遂げられたことであると考えます。実は、事前からPTA会長をはじめとする有志の方々による高圧洗浄、職人さんの指導の下でのさび落とし、さび止め塗布など、当日の塗布以外にも細かな下準備が必要でした。私も事前のさび止め塗布を一緒にしましたが、その労力は想像をはるかに超えたもので、当日を心配していました。

しかし、その心配も無用で、当日は、ボランティアの皆さんが進んで作業を進めてくださいました。集まってきた子どもたちも丁寧に作業をしてくれました。大変な作業でしたが、最後には、全員清々しい笑顔で、満たされた気持ちが見てとれました。私も一緒に作業をし、成し遂げた充実感を得ました。学校を愛する気持ちの醸成は、なすことにより実現するものだと確信した1日でした。

先月25日には、朝の児童集会で落ち葉清掃のCC活動を実施しました。これも、学校環境整美ボランティアさんを募り、子どもたちと一緒に清掃活動をする中で、子どもたちにボランティア活動の大切さを学ばせることができました。子どもたちは、終わりの会でビニール袋に集められた大量の落ち葉を見て、自分たちの力で学校をきれいにしたという満足感を実感していました。ボランティアの意義は、特別活動で教えていくものですが、体験を通じて実感させていくことで、自助共助の精神、他人を思いやる心や感謝の心、公共のために尽くす心をはぐくんでいくものであります。こういった自主的実践的な態度は、自然に身に付くものではなく、意図的計画的に育てていくものです。積極的に活動に参加できるようにしていくためには、適時に機会を設定すること、自主的な参加を促していくことが必要です。御家庭でも、子どもたちにそのような気持ちを高めていただけると幸いです。

今後も「自分たちの学校をよりよくしていくために何ができるのか」ということについて、保護者、地域、そして、子どもたち自身が考えられるようにしながら、協働を大切に「学校を愛する心」を醸成してまいります。